



ぶらたなす 学校通信

令和 8 年
10 月 23 日
河北町立
谷地中部小学校

キーワード 「前に踏み出す力」「チーム力」「考え抜く力」

一雨ごとに秋が深まる 10 月。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋と学校の教育活動も日に日に実りある 1 か月でした。様々な教育活動に対し、地域・保護者の皆様からたくさんのご支援やご協力をいただいていることにも心より感謝申し上げます。

「チーム力（協働・対話）」

「前に踏み出す力（主体性）」



地域とともに子どもの育成 「学びのフィールドを広げて」

2 年生の生活科「まちたんけん」では、子どもたちのニーズに多くのみなさまからご協力いただきました。



【さんぱつやさん】



【デ・ジョアさん】



【なおはら菓子店さん】



【ナカジマスポーツさん】



【岸電気さん】



【石山商店さん】



【クラッカーさん】



【TATSUMIYA さん】



【ムラタ畳屋さん】



【阿部写真館さん】



【工藤金物店さん】



【谷地八幡宮さん】



【5 年生の稲刈りは奥山農園さんのご協力】



【移動お話会にはひまわりサークルさん】



「考え抜く力（解決・創造）」

「単元をつなぐ授業」算数の学力向上をめざして



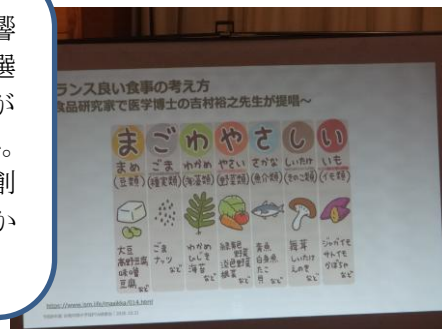
算数の学力向上をねらい、単元（学習のくくり）全体を6人の先生が担任をその都度挟みながら「わり算のひっ算」の授業を行いました。子ども達の理解力や考える力、それらを説明する力も向上しました。また、担当した先生のクラスでの授業づくりにも役立ち、学校全体で算数力向上の意識が高まっています。昨年度からの取り組みですが、全国学力学習状況調査では、全国平均を上回る結果となりました。

PTA 教育講演会「子どもの心と体は毎日の食卓から育つ」

食育・食養の第一人者「ぞの先生」こと食育経営コンサルタントで食養ファーマーズアカデミー校長及び食養メディア代表の外園明博先生が講師として谷地中部小のために九州からおいで下さいました。



食と健康が子どもに与えるよい影響や、今からできる「未来につながる選択」。河北町の「食養」を再発掘しながら「体験→会話→記憶→生きる力」へ。経営コンサルタントならではの地域創生の視点からも親として考えるきっかけを提供して下さいました



保護者の皆様より

「普段気にかけていた子どもの食事など、見直すきっかけになりました」
 「子どもたちに命のたねまきをどんどんしていきたいです」
 「食べることは生きること。食の大切さを改めて実感しました」
 「共話を大切にし、楽しい食卓にしていきたいです」
 「家族のルールも考えていきたいと思いました」



SDGS、ペーパーレス化に向けてホームページ登録をお願いします。

<https://member-yachichubu-kaoku.edumap.jp/>
 今月の地区回覧は10月30日頃になります。

回覧の際はQRコード⇒
 から保存ください。

